

第 2 回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火)	19時00～	時
市町村名	穂高町	グループ名	7
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

資料はどこから？

- ・ H11 建設事務所、A, B, C 案があった。県作成。
- ・ H6 ~ 11 年の間調査。
- ・ 交換会の要旨は了解を取ればHPへ。

< 資料について >

決定しているものはない。積み上げてきた経過。

(県) 波田から糸魚川まで。

国営アルプスあづみの公園のための道路か。住民のことには触れていない。

環境アセスについては手付かず。おかしくないか？

ルートが決まってからでは遅いのでは？

(県) ルートを決めるのと一緒にアセスをやっていかなければ。

お金もかかるのでルートがある程度決まらないと出来ない。

3ルートにそれぞれアセスをとるのはひとつの意見として出しておきたい。

これが今まで県のやってきた手法

事業主体は

(県) 国の補助事業として県がやることになるだろう。

1/2 - 国負担 おおむね 8 割が道路特定財源

1/2 - 県負担 2 割が県費

国道になるかバイパスになるか分からない。

国営公園の開設は？

A : 15 年以降、なるべく早い時期の開設。

< 賛成して下さる議員の方 >

アルプスと農地が安曇野の宝。

農家の生活道路が車に取られてしまっている。

トラクターを出すには、今、家中でオーライをやらないと出来ないくらい。

農家を守るためには自動車専用道路を。

Q : 農道の側道としてトラクター用の道路はどうか？

A : 大型農道は満杯。地域の人は細い道まで入って来てしまう。

農家の人が困ることが第一だったら、高速道路を作るより、側道を作るほうがよほど楽。

- ・ 農道がいつも渋滞、山麓線に上がってくる。おやっ、と思う細い道まで通勤車輛が詰まっている。

通過車輛はそちらに行ってもらおう。

アートヒルズから鳥川まで渋滞する。

地元の人が、農家の人が横断できなくて困る。

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火)	19時00～	時
市町村名	穂高町	グループ名	7
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		
<p>穂高、東西線4本、西中、拍矢町が優先。ほかは無理。町も国もできない。 新しい国の事業でやる方が可能性が高い。・必要のないところで詰まっているよりは、地域の人にとっても旅行者にとっても安全。 烏川を下って、乳川の護岸工事を兼ねてやるのか、国の事業としてやっていくのが適当。 農道は30年前、農家の人と地元の人。今はいない。いなくなったのではない。いられない。朝早く車を出しておく状態。通る車はトラクターをにらめつけていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのくらい渋滞するか？どこで？など、調査する必要がある。 ・4車線でお金を取らない道はあるのか？公園のための道？ ・地域の人のためではない。公園のため。 ・農道の前に大きな道を!と要請したためだった。 ・大町から北のほうが先、難しい。 ・穂高第4次総合計画。町の姿勢 早期着工。 ・松の木一本切るのにも役場の許可がいる。どうして道路のために木を切れるのか？ ・緊縮財政の今、借金をおりこんでやるより、今ある道路を直したほうが良いのでは？立体交差、歩道橋など安上がり。今ある道路を直してから、そうしたらどうか。 ・穂高の魅力は何だ？安曇野がない ・農道を作ると安上がりだから作った。でも、“農道”が目的ではない。農家は犠牲を払っている。 ・景観をつぶしたら戻らない。 ・烏川、乳川ルートが穂高には良い。 ・道路ではなく、農政の問題ではないのか？道路周辺の地権者が納得しない。今ある道を拡幅するのも難しい。 ・土地代が高く売れる、...道路を作るより町民の要望を聞いて改修したほうが良い。 ・現在4本あるけれど、さらにいるのか？町に住んでいるものとして、声を出していきたい。 ・国や県はお金はあるのか？充分とはいえないけれど、全力をつくす。 県や町の事業では、お金が出ない...道ができない。 国の事業なら、お金が出る...道ができる。 ・県で20%出るのなら、それだけでももらえないか？ ・議員はそれをお願いしているのか？ している。 ・道路はずっと無料なのか？工事費がかかったから、有料ということはないか？維持費もかかる。本来の必要な工事に行くお金がなくなるのではないか？ 			

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 6日(火)	19時00～	時
市町村名	穂高町	グループ名	7
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- ・公園に人は来る。来る人にとって道がないのは失礼だ。
人は自然の姿を求めてくる。人工的に作っても…。一回は来ても人は来ない。観光客が…といっても人は来ない。道路はなくても、来たい人は来る。
もう、車はこれ以上増えないのでは？(所有車、通常車 両方)
スキー場でも人は減ってきている。
道路を作らないと自然が守れるというわけではない。地域みんなで作り上げていくもの。
- ・人口は減ってきている。これだけのものを作って10年後にはどうなるのか。
穂高町として20年後30年後どうありたいか、ビジョンを。
もし道が便利になったら、大系線はどうなるか。学生やお年よりの人も困る。今でも本数が減ってきている。
- ・20年前からの話
- ・道ができることを地元の人は知らない。
- ・今検討として
財源があるから作るという考えを改めなければ、今のままでは田がなくなる。
- ・環境を破壊しないことが大切。自然を残していかなければ
- ・これからの穂高町をどう考えていくか。繁栄も、道路もみんなで考えて、どうしていきたいかを考える場を作って。
- ・どうしてもといったら高瀬川に。
- ・環境を破壊しないように、穂高町の人口が増えたのは別荘地のおかげ。来たやろうではなく、おねがいして来てもらった人達。
- ・必要か不必要かを良く考えて。国からお金がおりるから作るでなく、穂高町にとって必要か。

次回 11/30(金)体育相談室 7:00～9:00